
11. その他中心市街地の活性化のために必要な事項

[1] 都市計画等との調和

(1) 第2次伊賀市総合計画・第3次基本計画（2021（令和3）年6月）

第2次伊賀市総合計画・第3次基本計画では、『ひとが輝く 地域が輝く』伊賀市」を基本構想の将来像に掲げ、あらゆる主体が連携・協力した分権型のまちづくりを進めている。テーマとして「市政のバージョンアップ（「新たな日常」「新しい生活様式」の確立）」「さらに「誇れる・選ばれる伊賀市」へ」「オール伊賀市」の実現」を掲げ、その中で中心市街地の活性化を図ることとしている。

【施策】

中心市街地活性化

【基本事業】

市街地整備、中心市街地の商業の活性化

(2) 伊賀市地方版総合戦略（2021（令和3）年3月）

伊賀市総合計画と一体となって策定した伊賀市地方版総合戦略では、基本目標に「誰もが希望を持って働くことができる」「安心して子どもを産み、育てることができる」「心豊かに暮らし続けることができる」「魅力を高め、にぎわいと交流を生み出す」を掲げ、その中で中心市街地の活性化を図ることとしている。

<基本目標3>

心豊かに暮らし続けることができる

<基本目標4>

魅力を高め、にぎわいと交流を生み出す

【施策】

中心市街地活性化

【基本事業】

市街地整備、中心市街地の商業の活性化

(3) 伊賀市都市計画マスタープラン（2021（令和3）年12月）

伊賀市都市マスタープランでは、伊賀市の将来都市像として「伊賀流多核連携型都市」を掲げ、その実現のため、中心市街地を含むエリアを、上野中心広域的拠点に定めている。エリアの実現目標として「伊賀上野城下町の文化的景観の継承と住みよさが共存する『暮らしと文化的景観が紡ぐ交流拠点の形成』」が掲げられている。

(4) 伊賀市立地適正化計画（2018（平成30）年3月）

伊賀市立地適正化計画では、都市づくりの方針を「人口減少社会でも住み良さが実感でき、郷土に誇りを持てる都市づくり」とし、「将来も持続可能な都市構造の実現」「住みたい・住み続けたい“伊賀”づくり」の2つの基本目標のもと、取組を進めることとしている。その上で、中心市街地の区域は上野中心都市機能誘導区域として位置付けられている。

(5) 伊賀市景観計画（2009（平成21）年1月）

伊賀街道・大和街道沿線及び寺町地区景観計画（2009（平成21）年1月）

伊賀市景観計画では、伊賀市全域を景観計画区域として設定しているが、特に都市景観の形成を図る必要があると認められた中心市街地エリアを含む伊賀街道沿線、大和街道沿線、寺町の6町3地区については、別途伊賀街道・大和街道沿線及び寺町地区景観計画を定めている。該当の3地区については、「伝統的な町屋景観の保全育成」「居住環境整備を軸とした住み良いまちづくり」「寺院建築と白壁の連続する景観の保全」を目標とし、だんじりが映える景観まちづくりを進めていくこととしている。

(6) 伊賀市地域公共交通計画（2021（令和3）年3月）

伊賀市地域公共交通計画では、基本理念を「暮らしに寄り添い ひと・地域が輝く ネットワークづくり～みんなで磨きあげ使って支える伊賀市の地域公共交通～」とし、「市民・利用者の生活の質を高める地域公共交通ネットワークの形成」「誰もが利用しやすく、使いたくなるような地域公共交通サービスの充実」「一緒に考え、次世代へつないでいく持続可能な仕組みづくり」の3つの基本方針としている。中心市街地内の上野市駅を中心に、「まちの拠点と居住地を結ぶ公共交通ネットワークの構築」を目標の一つとして定め、取組を進めることとしている。

(7) 伊賀市歴史的風致維持向上計画（2016（平成28）年5月）

伊賀市歴史的風致維持向上計画では、中心市街地エリアを含む上野城下町を重点区域の一つとして位置付けている。上野城下町にみる維持すべき歴史的風致として「上野天神祭」「芭蕉顕彰と俳句文化」「伊賀組紐」「城下町の和菓子店」の4項目を挙げており、歴史的まちなみの保全や歴史文化を継承する担い手の育成等に取り組んでいくこととしている。

[2] その他の事項

(1) 伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン（2022（令和4）年4月）

2016（平成28）年、伊賀市を中心市として、京都府笠置町、南山城村と「伊賀・山城南定住自立圏」を形成した。その後、2019（令和元）年に奈良県山添村が連携自治体として加わり、現在では3府県を跨ぐ全国的にも類稀な「伊賀・山城南・東大和定住自立圏」を形成している。

伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョンでは、圏域の将来像として「“水と歴史でつながる圏域” 伊賀・山城南・東大和圏域」を掲げ、「圏域でつながり、暮らしの安心を支える」「活発な交流により、賑わいを創出する」の2つの視点により、取組を推進することとしている。

中心市と連携町村の役割としては、中心市である伊賀市は、圏域内の住民が安心して暮らしていけるよう都市機能を充実・強化し、圏域内の魅力の向上及び活性化等に取り組むこととしている。また、笠置町、南山城村及び山添村においては、伊賀市と連携を図りながら、生活機能の確保・充実に努めるとともに、各地域が有する地域資源を活かした事業に取り組み、伊賀市とともに主体的・積極的に圏域施策に参画し、圏域全体のネットワーク強化に努めていくこととしている。

伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョンに基づいた取組を推進することにより、より一層、中心市街地と周辺地域との連携を強めていく。